



千曲市議会だより

No.73

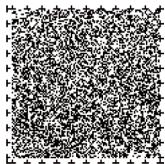
12月議会

令和2年2月1日発行

みんなの議会



被災地に昇る元朝の陽



12月定例会 CONTENTS

議案審議結果一覧	P 2
委員会報告	P 4
一般質問（個人）	P 6

議案番号	件名	結果
議案第 76 号	千曲市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第 77 号	令和元年度千曲市一般会計補正予算（第 6 号）の議定について 	◎
議案第 78 号	令和元年度千曲市下水道事業会計補正予算（第 2 号）の議定について	◎
議会第 8 号	千曲市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	◎
議会第 9 号	令和元年台風 19 号災害からの復旧・復興に向けた決議（案）	◎
議会第 10 号	「気候非常事態」に関する決議（案）	◎

継続審査となった議案

議案番号	件名	結果
議案第 71 号	更埴体育館外 5 施設の指定管理者の指定について	－

陳情・要望審査結果一覧表

番号	件名	陳情・要望者氏名	結果
陳情第 8 号	千曲川の堤防決壊防止対策の緊急実施を求める陳情	千曲市の大水害防止を考える会 代表 岩井 俊明	採択

議案 … 21 件 請願・陳情等 … 1 件 計 22 件



注目！

台風 19 号災害の復旧・復興予算として 過去最大の 50 億円超の補正予算を可決！

台風 19 号で甚大な被害を受けた公共施設や農地の復旧費用と被災者の生活再建のため、専決補正 7 億 6,200 万円に加えて 49 億 1,600 万円の補正予算を可決しました。

ただし、上山田の万葉スポーツエリアや戸倉の大西公園等の復旧費用は含まれず、国の災害査定を経て早期に予算計上する予定となっています。

12月定例会（12月3日～12月19日）

令和元年台風 19 号災害からの 復旧・復興に向けた決議（案）を可決

12月定例会では、教育委員会教育長の任命等の人事案件及び台風 19 号災害関連事業予算を計上した令和元年度千曲市一般会計補正予算を含む 21 件の議案と、陳情 1 件を審議しました。

最終日において、議員提案の令和元年台風 19 号災害からの復旧・復興に向けた決議（案）を全会一致で可決しました。

議案審議結果一覧

採決結果：◎全会一致で可決・同意・認定 ○賛成多数で同意

議案番号	件名	結果
専決第 6 号	専決処分事項報告について（千曲市手数料条例の一部を改正する条例）	◎
専決第 7 号	専決処分事項報告について（令和元年度千曲市一般会計補正予算（第 4 号）） 	◎
議案第 63 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	◎
議案第 64 号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	◎
議案第 65 号	千曲市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
議案第 66 号	令和元年度千曲市一般会計補正予算（第 5 号）の議定について	◎
議案第 67 号	令和元年度千曲市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）の議定について	◎
議案第 68 号	令和元年度千曲市下水道事業会計補正予算（第 1 号）の議定について	◎
議案第 69 号	千曲市健康プラザの指定管理者の指定について	◎
議案第 70 号	芝原農産物加工所の指定管理者の指定について	◎
議案第 72 号	教育委員会教育長の任命について	◎
議案第 73 号	教育委員会委員の任命について	◎
議案第 74 号	監査委員の選任について	○
議案第 75 号	千曲市一般職の職員の給与に関する条例及び千曲市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎

採決が分かれた議案については、市議会のホームページをご覧ください。 

◆◆ 福祉環境常任委員会 ◆◆

委員会開催日：12月13日
議案5件の審査と所管事項調査

○議案第65号 千曲市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第69号 千曲市健康プラザの指定管理者の指定について

問 公募状況や災害時には福祉避難所となる説明を指定管理者にしているか。また収支予算書の内容は

答 公募は1社であった。指定管理者には福祉避難所となる旨説明はしてある

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第77号 令和元年度千曲市一般会計補正予算（第6号）の議定について（第3款 民生費）

問 扶助費・信州被災者生活再建支援金、貸付金・災害援護資金貸付金の金額の根

拠と内容は

答 今回の補正は罹災証明により半壊が増えたため、複数世帯50万円、単数世帯37万5,000円が支給される。12月10日現在、半壊335件の罹災証明を発行。うち257件の申請がある

貸付金・災害援護資金貸付金については、半壊170万円まで貸し付けができる。ただし所得制限がある
(第11款 災害復旧費)

問 杭瀬下保育園の工事が進んでいないようだが

答 現在、応急工事を行っている。子育て支援センターの応急工事はほぼ終了。本復旧を年度内と考えている。更埴デイサービスセンターは現状復旧で、完成は来年度中を予定している

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

◆◆ 建設経済常任委員会 ◆◆

委員会開催日：12月16日
議案5件と陳情1件の審査と所管事項調査

○議案第66号 令和元年度千曲市一般会計補正予算（第5号）の議定について（第8款 土木費）

問 屋代スマートIC詳細検討業務委託料の詳細は

答 IC実施予定地周辺の地盤解析調査費である

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

○議案第77号 令和元年度千曲市一般会計補正予算（第6号）の議定について（第6款 農林水産業費）

問 災害漂着稻わらの対処は

答 国の補助がある。撤去済みの稻わらに対しても善処するよう努力する
(第7款 商工費)

問 観光振興事業費の詳細は

答 台風で落ち込んだ観光需要の回復のために映像を作成し、PRする予定で100万円。

また、市内ホテル旅館への宿泊に対し、市の復興支援補助金として1,000円×4,000人を見込んでいる
(第8款 土木費)

問 危険家屋解体委託料の詳細は

答 台風で倒壊した家屋周辺の交通安全対策として、市で撤去業者を手配。費用は所有者に負担していただく
(第11款 災害復旧費)

問 農地災害復旧費と都市計画施設災害復旧費の見積もり根拠は

答 水路や頭首工の補修、排水機場のポンプの更新費等や設計委託料、43ヘクタールの排土関連費用を計上。また、河川敷地内の都市公園及び沢山川親水公園、栗佐の桜堤、水辺の楽校の工事関係予算を計上した

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定

委員会報告

12月定例会で提案された議案は、各常任委員会に付託して審査を行いました。主な質疑と審査結果です。

◆◆ 総務文教常任委員会 ◆◆

委員会開催日：12月12日
議案7件の審査と所管事項調査

○議案第71号 更埴体育館外5施設の指定管理者の指定について

問 スポーツ協会の委託業務の内容は

答 勤労者スポーツセンターと東部体育館はシルバーリソースセンターに委託

問 幾つの事業者からの選択で、指定管理者をスポーツ協会に決めた理由は

答 公募で2つの事業者から申し込みがあり、適正な管理、人員体制や予算、非営利か営利目的かどうか、債務負担等を考慮して協会を選んだ

問 土日等利用者のニーズに応えられるか、3,000人以上の収容アリーナを含めた管理ができるのか。5年間予算書は同じ、収入を伸ばすことを考えるのか、市民第一と考えるのか

答 選定については、非営利か営利目的かどうかで大きな差が出た。選定委員会、社会教育委員から意見を徴し、教育委員会でスポーツ協会に承認された

問 スポーツ関係の企業への打診は

答 あくまでHP等で公募をかけた
【討論】

市民やスポーツ愛好家に寄り添ったスポーツ協会であるか。スポーツ振興のための団体か。諸問題があり、視察調査・研究が必要であり、継続審査にしたい

【採決結果】

全会一致で継続審査とすべきものと決定
○議案第77号 令和元年度千曲市一般会計補正予算（第6号）の議定について

問 複雑な復興業務と通常業務の分担、人的な補充はあるか、体制は適切か

答 県内外から応援部隊計5名をお願いし、国交省へは職員を派遣する

問 台風19号関連の予算編成、補正の財源調達について、市長の見解は

答 庁舎の解体などは見送る。災害関連予算の市負担は少ない

【採決結果】

全会一致で可決すべきものと決定



問 これから市が目指すべきは、二度と同じような災害を起さない方針には、様々な被災ケースに応じたものを盛り込んでいくたい。

これからやらなければならぬのは「復旧」に改良を加えて安心・安全を取り戻すことであり、その後に被災から立ち直る「復興」を果たすことであると考えている。

問 今回被災された市民への対応として様々な被災者支援制度ができているが、被災したケースに応じたものにはなっていない。被災者に寄り添ったケースバイケースで対応できる形にすべきでは。

問 今回の「台風19号」による被害から、復旧と復興が大きな課題となっているが、「復旧」と「復興」には違いがあると考える。被災した市民は「復旧」だけではなくて、安心・安全を取り戻す「復興」までを求めていると考えるが、市はこれから作成する「復旧・復興の方針」に、復興まで踏み込んだ道筋を示すことができるのか。



▲冠水した東部体育館前の県道

台風19号の復旧と復興に向けて



林 愛一郎

問 協約を締結している中枢都市長野市と、連携市である当市は対等か。

答 双方が対等に自由に協議し、方針や役割分担など柔軟に取り決めて連携できるので、自主性や独自性が損なわれることはない。今

答 今後の霞堤の存続と活用は、河川整備などによるハード対策と、地域が連携するソフト対策を総合的な治水対策として進め、緊急治水対策プロジェクトで検討する中で、国や県としっかりと話し合いを行い進めていく。

雨水が新田用水や尾米川から溢れ出たと思われる写真は公開されているが、霞堤からの越水を確認する写真等が公開されていないが根拠は。



▲国交省 千曲川河川事務所 戸倉出張所

「霞堤からの流入」 根拠と活用対策



宮入 高雄

問 ついて
協約を締結している中枢都市
長野市と、連携市である当市は対等か。

答 問
今後の霞城の存続と活用は
河川整備などによるハード対
策と、地域が連携するソフト対策
を総合的な治水対策として進め、
緊急治水対策プロジェクトで検討
する中で、国や県としつかり話し
合いを行い進めていく。

問 雨水が新田用水や尾米川から溢れ出たと思われる写真は公開されているが、霞堤からの越水を確認する写真等が公開されていないが根拠は。
答 現場職員が目撃している。国交省の現地調査でも触れており、市内の降雨量が200mmにも達しているなかつたことから、内水氾濫ではなく、霞堤を経由して杭瀬下地区等に流れ込み、冠水したことは明らかである。



▲国交省 千曲川河川事務所 戸倉出張所

一般質問(個人)

15名が 市政を問う！

日程	掲載頁	氏名	通告事項
12月9日(月)	7	林 愛一郎 (自由民主クラブ)	1 台風19号災害の復旧と復興に向けて 2 教育長任期を全うしての想いは
	7	宮入 高雄 (千曲政経会)	1 霞堤について 2 連携中枢都市圏について
	8	齋藤 正徳 (日本共産党千曲市議団)	1 霞堤からの浸水について 2 沢山川の水害対策について 3 千曲市教職員の働き方改革について
	8	中村 了治 (日本共産党千曲市議団)	1 台風19号災害について 2 都市計画の見直しについて 3 高齢運転者への支援策について
	8	前田 きみ子 (日本共産党千曲市議団)	1 台風19号災害の避難と今後について 2 宮川(更級川)の溢水について 3 山林の保全対策を
12月10日(火)	9	和田 英幸 (自由民主クラブ)	1 台風19号災害と今後の復興及び治水対策 2 交通政策と循環バスの運行について
	9	北川原 晃 (千曲政経会)	1 台風19号災害から見えた市民の命と財産を守る為の施策 2 ロケツーリズムについて
	10	柳澤 真由美 (公明党)	1 台風19号災害の教訓と復興について 2 更埴図書館、今後の図書館経営について 3 子どもの貧困救済計画策定について
	11	滝沢 清人 (公明党)	1 つぎの大型台風・大規模水害への備えを盤石に 2 大規模水害に対する住民避難と避難所の備えについて
	11	飯島 孝 (科野の会)	1 台風19号豪雨災害について 2 職員が地域に貢献する為には
12月11日(水)	12	宮坂 重道 (千曲政経会)	1 台風19号の浸水被害について
	12	倉島 さやか (千曲政経会)	1 台風19号被災後の対応について 2 千曲市内の公立保育園、私立保育園、認可外保育園の「臨時休園の実施基準」の策定について 3 就職氷河期世代への支援について 4 産業発展のために海外との繋がり強化を
	13	金井 文彦 (科野の会)	1 被災者に寄り添った復興支援を 2 八幡の「場外車券販売場施設」設置の是非について
	13	大澤 洋子 (無会派)	1 ボランティア活動支援のための倉庫設置を 2 学校給食センターについて 3 第3次千曲市男女共同参画計画5年目の今
	14	中村 真一 (科野の会)	1 台風19号の被災により、千曲市政の対応は 2 事前の危機管理対策と地域市民とのコミュニケーションは



齋藤 正徳

今こそ治水対策の強化を

問 杭瀬下地区等への浸水被害は今後どうすれば防げるのか。また霞堤の堤内地と市街地を分離する堤防設置を求める声があるが。

答 霞堤から流入の際には、東林坊川の護岸堤防までは流れたと推測されるが、霞堤と本堤に囲まれた一帯が逆流で浸水し、堤内地に及んだものと思われ、過去の例からも想定は難しい。

昨今の気象変動に対して河川の治水対策は、ハード面の対策だけでは被害を無くすることはできない。局地的な対策だけでなく、千曲川では上流から下流までの総合的な対応が必要だ。

問 沢山川漏水対策の検証と浸透対策は、沢山川は越水による法面の浸食・崩落が多数確認され、越水・漏水・浸透による破堤の懸念が広がっている。鋼矢板による遮水壁等の浸透対策、堤防決壊を防ぐための対越水堤防の導入、また統合保育園の建設に伴い、本誓寺橋上流の堤体強化の考えは。

答 千曲建設事務所の調査結果と対応を聞いて、沢山川対策促進期

成同盟会として県に対し要望活動を行う。本誓寺橋の上流左岸には、東部体育館、東部児童センターがあり、更には雨宮とあんず保育園の統合保育園の建設計画があることから、市としても沢山川堤防の安全性の確保は重要なことと承知している。最も被災が激しかった宇佐美橋付近は、1月下旬の災害査定を経て復旧工事に着手する。

【その他の質問事項】

○千曲市教職員の働き方改革について



▲沢山川堤防法面の崩落（土口宇佐美橋付近）

問 稲荷山野高場地区では、若い人が声を掛け合い、車のない人は車のある人に乗せてもらい避難した。避難所の学校では、教室や保健室を開設するなど配慮されたと思うが。

答 今回の避難状況を踏まえ、今後に活かすため「災害時避難行動要支援者名簿」の有効活用を検討する。

問 福祉避難所は、第1次避難所と避難したあと、福祉避難所への振り分けがされ、第2次の福祉避難所に行くが、最初に避難所となった桑原転作促進研修センターは、昭和54年建設で障がい者には不便であった。福祉課職員の配置があり、長野県稻荷山養護学校に避難の手配をし、雨風の中、自家用車で避難することが出来た。稻荷山養護学校は在籍児、卒業生、関係者の福祉避難所に指定すべきと思うが。

答 今後、県や施設側と協議し、福祉避難所として指定を検討する。

問 更級川は、下流域の宮川樋門、更級川排水機場付近は増水時危険な状況がある。今回の台風では、

▲10月12日稻荷山自衛団の必死のポンプアップ作業

問 要佐、杭瀬下地区の内水氾濫について、市が直接管理している伊勢宮川と尾米川の水門排水機場の機能や管理に問題はなかったか。

答 排水機はサイフォンの原理に基づき行っているが、千曲橋観測点で5~6.5mとなり、逆流の恐れが生じたため水位が下がるまで排水機を停止することになった。千曲川の水位が下がったことで排水を再開できたので、機能や管理には問題はなかったと考える。

問 千曲川の水位が5mを超えると水門を閉め排水機を停止する。来年も同規模の台風が来れば内水氾濫の危険があるがその対策は。

答 千曲川の水位を5m以上しない対策が重要なので、毎年河道掘削を行うなどが必要になる。緊急治水対策プロジェクトのなかで対策を考え進めている。

問 沢山川の堤体はスカスカであることが漏水箇所で分かつたが。

答 損傷が激しかった宇佐美橋付近の災害復旧工事を計画し国に申請している。国の査定後に工事を



▲台風19号で増水した千曲川

問 台風19号で増水した千曲川実施する。同盟会として県へも要望していくが、沢山川は完成形とは思っていない。

答 霞堤は一定の面積を確保しつつ外周を閉鎖できるか検討する。来年に備えて対応策を考えていく。千曲川の水位を上げない対策として河道掘削を継続し、長期的には、強固な堤防の築造など強靭化対策を国に要望する。



中村 了治

被災された方や企業に寄り添った支援を

きる。今後、県や関係機関と合同説明会を開き、事業の継続を支援していく。

答 これらの再取得や撤去・再建等の費用は、国の「支援交付金」等の支援対策を活用し支援していく。

問 農機具やビニールハウス被害への救済対応は。

答 これからの再取得や撤去・再建等の費用は、国の「支援交付金」等の支援対策を活用し支援していく。

問 都市計画の見直しの必要性は。

答 市独自の住宅ローン支援制度はないが、市消費生活センターで所轄の機関に取り次ぐ等の相談活動をしている。今後は戸舎1階に専用窓口を設置し担当課への案内などきめ細かく行っていく。

問 被災市民や企業への減免措置は。

答 個人の減税措置として市民税や固定資産税、国保税の減税制度はある。該当者には罹災証明書に減免申請書を同封してすでに郵送している。被災企業には減免制度はないが、法人税等は申告や納付期限の延長が可能なほか、被災による損失を経費に計上して申告で



▲台風で吹き飛ばされたビニールハウス(力石)



災害から市民の命と財産を守る施策を

個人質問

大型駐車場など防災拠点を備えた「防災道の駅」を早くつくるべき。

河川流域の指定避難所の多くが洪水ハザードマップの浸水想定区域にあり安全な避難施設・場所になつてない。緊急時に逃られる安全な避難施設や避難場所の「防災道の駅」を一刻でも早くつくるべきと考えるが。

東日本大震災などの災害を契機に、国は緊急避難場所や復旧・復興支援のための拠点機能を備えた「防災道の駅」設置を推進している。このことから現在、国道18号バイパス沿いでの設置を研究している。

今こそ形骸化している防災訓練を見直すべき。

毎年9月に実施している総合防災訓練や区・自治会の防災訓練を今回の災害を教訓に、全職員が参加し、行政と市民が一丸となつて取り組む防災訓練に見直すべきである。

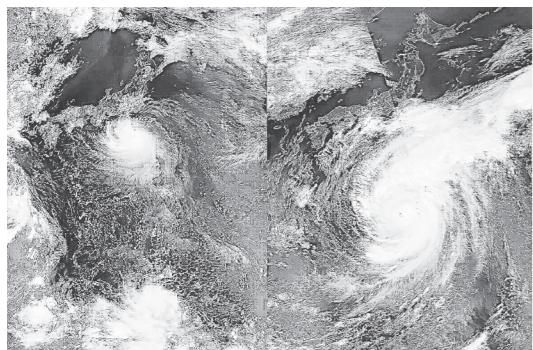
今回の台風を取り入れるなど、見直しを進めることで、現状の問題を改善していく。

問 次のスーパー・タイphoonに備えよ

滝沢 清人

19号を超える大型台風の襲来で堤防が決壊したら市民を守る「避」対策本部の庁舎や消防署が冠水する。職員への適時適切な指示やタイムライン行動計画となる「水害対策BCP」の作成は、最優先で取り組むべき。

答 今回の災害を教訓として、様々な課題があることから、あらためて災害対策本部としての課題の抽出と改善点等を検証するなかで、洪水対策BCPの策定も含め、どのような方策が必要か真剣に検討していく。



▲左が9月9日上陸の15号、右は10月12日上陸の19号でカテゴリー5のスーパー・タイphoon

※BCP=事業継続計画



台風19号災害の復旧・復興は迅速に

個人質問

するよう指示をし、地域防災力の向上に努めていく。

市のイメージを損なう口ケツーリズムになつてないか。

戸倉上山田温泉で撮影し、来年公開の映画「ファンシー」は暴力団・ヤクザの抗争、拳銃の発砲、女性の背中に入れ墨を彫る描写などがあり、温泉街、市のイメージが悪くなるのではないか。他市では台本を精査し規制しているが。

答 事前に地元の自治会・住民・関係団体等、全ての皆さんから「快諾」をいただいている。風評被害につながる恐れはないと考えている。



▲災害時の緊急避難場所や救護の活動拠点
防災機能を備えた「防災道の駅」

問 被災2ヶ月、災害対策本部総括は。

答 関係機関との連携で、早期の避難勧告や避難指示の発令、避難所の開設ができた。一方、情報伝達の一部不備、避難所開設当初の混乱、庁舎周辺の冠水による物資搬送の遅滞等課題があつた。避難所運営訓練や研修を重ね、改善したい。対策本部として今回の災害を教訓に、課題の抽出と改善点を精査し、本部機能の充実・強化につなげる。

問 防災道の駅の運営訓練や研修を重ね、改善したい。対策本部として今回の災害を教訓に、課題の抽出と改善点を精査し、本部機能の充実・強化につなげる。

問 障害者、高齢者への避難情報伝達と避難誘導はできたか。

答 3100人程いる避難行動要支援者は、名簿に基づく個別支援計画が機能したか検証し、改善していく。

問 公共施設利用者への避難情報伝達と帰宅指示はなぜできなかつたか。

答 文化会館での吹奏楽部の学生について、午後5時30分頃には保護者の迎えで帰宅した。今回の被災を教訓に、改めて人命最優先で避難させるよう改善する。

問 防災場所や防災の拠点となる避難場所や防災の拠点となる

道の駅を18号バイパス八幡地域に建設を。

答 すぐとはならないが、そろいつた方向で検討していく。

問 被災者及び全世帯の声を吸い上げるためのアンケート実施を。

答 復旧・復興計画の策定に向け、広く意見を聞くよう必ず実施していく。

問 更埴図書館はカビ対策や今後の災害への備え、子ども図書室の増築も含めた今後のあり方・経営の検討を。

答 課題を把握し、ハード面の変更も視野に、更埴図書館のあり方を描いていく。また、民間のノウハウを取り入れた経営を調査・研究していく。

問 避難場所や防災の拠点となる

▲冠水した庁舎周辺

問 台風災害で学び人材育成の大切さも学ぶ

飯島 孝

問 台風19号豪雨災害による霞堤の対策・河床の掘削について国土交通省との取り組みは。

答 霞堤の遊水機能を活かしつつ閉鎖すること等が可能であるかも含め、千曲川の治水対策について国、県、流域市町村による「緊急治水対策プロジェクト」のなかで研究と取り組みを進める。河道掘削についても被害後、意見交換会が行われ、改めて治水対策として要望した。

問 防災無線の進捗・課題について。

答 昨年度からデジタル防災行政府の整備を進めており、来年度より一部の屋外告知放送子局において停電や断線しても情報発信することができる無線化が図られる。しかし、市内全域の無線化は多額な費用を要するため、従来のケーブルによる放送も併用するほか、携帯電話へのメール配信も継続し、対応していく。

問 これからの自治体は、自らの創意と工夫により個性豊かなまちづくりを進めなければならない。そのため職員にまちづくり研修



▲まだ台風19号の爪痕残る

と参加を望むが。

答 若い職員には、研修視察に率先参加し、新しいアイデアや創意工夫、そして何事にも果敢にチャレンジする行動力が重要と考える。「全国地域リーダー養成塾」への派遣や「協働事業提案制度採択事業」への積極的参加など、フィールドワークを通じて実践的に学んでいく。

○その他質問事項

○職員の能力開発について



▲冠水した庁舎周辺

問 震度が耐えられる水量を超え、水圧に耐えきれず、どこで破堤が起きたやもしれない危険を避けるため、先人が多くの経験から考えた治水手段と聞くが、此のたびの水害で機能したか。

答 今回の様に千曲川の水位が過去に例が無い位上昇し、増水による水が、震堤内を逆流する状況では東林坊川は機能しないため、今回も浸水被害状況を把握し、今後しっかりと検証作業を進めていく。



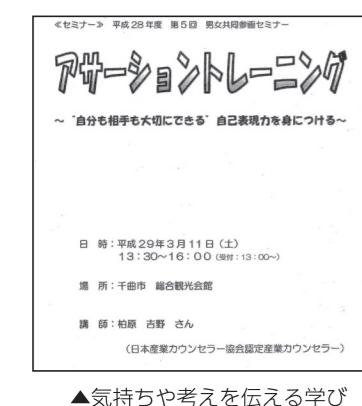
▲被災した自動車置き場となったパチンコ店跡地

問 署災の判定見直しにより被災者の受けられる支援の幅が格段に広がったが、その要件が細かく厳しい。各自治体の裁量で彈力的に対応できないのか。

答 国の災害救助法に基く詳細なルールに則り、市が運用せざるを得ないことをご理解いただきたい。

問 避難所で被災した自家用車についての支援は考えられないか。

答 公費での支援は難しいが、義援金の使用において検討する。



▲気持ちや考え方を伝える学び

問 尾米川流域の住宅が今回の災害で浸水被害の中心になつたが、尾米川の治水対策について、市の方針を伺う。

答 尾米川流域の内水排水は排水機能を果たすことが可能だが、今回のような外水流入が起こらないよう、千曲川本流の治水について、流域全体での抜本的対策を、尾米川単体の治水も含めて「緊急治水対策プロジェクト」において研究と取組みを進める。

問 今回、市は罹災証明書の再発行を行なつたが、被害認定が自治体によって不公平な違いが生じる可能性を予見できたのに、なぜ長野市などと足並みを揃えることが出来なかつたのか。

答 初回、国の指導もあり、被害認定調査で建物が外圧による一定以上の損傷がないと判断したが、再調査の結果激しい水流による建物外部の損傷などが確認できたので判定を見直した。被災者の皆様にご迷惑をお掛けしたことは率直にお詫びする。これを教訓に今後は関係機関と協議し、広域的な調整を図っていく。

問 金井 文彦
復興支援を



金井 文彦

被災者に寄り添つた



大澤 洋子

自己表現を身につける



▲川は水の道だ

問 沢山川等、堤防越水による被害の今後の対応策について。

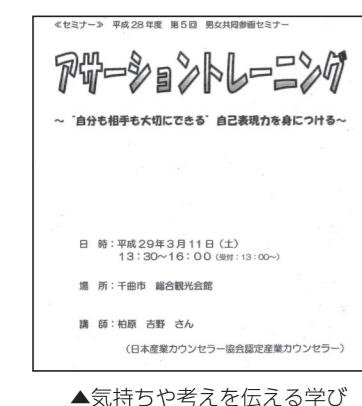
答 現時点では、県は沢山川の特殊堤防による嵩上げは、堤防本体にさらに水圧がかかることで堤防の危険性が高まる恐れがあり、安心安全の観点から問題があるという考えを示している。今後県では、損傷が大きかつた宇佐美橋付近において復旧を計画しており、堤防本体の復旧が最優先と聞いています。

問 沢山川期成同盟会としての今後の対応策について。

答 気候が大きく変化していきる事を踏まえ、改めて安全性について検証し、対策を講じてもらうよう、地域の方々と共に引き続き県へ粘り強く要望していく。

問 所と雨宮保育園の今後の対応策について。

答 消防団第2分団詰所については、修理を発注しており、将来的には移転することが望ましいと考えている。雨宮保育園については、現在地での現場復旧は困難と判断した。令和4年4月に統合保育園について。



▲沢山川の越水被害

問 学びを

問 大澤 洋子
学校給食センター民営化の検討結果は。

答 現状は臨時調理員の比率が高いため、民間委託による人件費削減のメリットはあまり期待できないことが判明。安全性の低下への懸念、アレルギー食の対応等も含め、現時点では当面直営方式を維持すると判断した。

問 地域共生社会の実現に、ボランティア活動は貴重。活動のための倉庫設置要望について。

答 今後、関係団体の倉庫の確保等の支援について研究していく。

問 学校給食センター民営化の検討結果は。

答 現状は臨時調理員の比率が高いため、民間委託による人件費削減のメリットはあまり期待できないことが判明。安全性の低下への懸念、アレルギー食の対応等も含め、現時点では当面直営方式を維持すると判断した。

問 学校給食の地産地消推進は。

答 地元農産物の使用率は、平成27年度まで10%強。翌年度からは、米が100%になつたことから35%以上となつた。地産地消関係連絡会議のメンバーには、課長級も加わり、積極的に取り組んでいる。

問 市防災会議の女性割合が低いが。

答 会長である市長を含め31人中女性は4人。地域防災計画の策定など審議。女性委員の登用に努力する。

問 男女共同参画セミナーで、「人生を幸せに元気で生きる」自分の内外にある「らわ・から脱皮しよう」や「女性もリーダーシップの演題で学習した。今後の企画内容は。

答 自己表現を身につけ、自分の気持ち・考え方や信念を正直にその場にふさわしい方法で表現できる力を引き出す考え方・生き方の演題で学習した。今後の企画内容は。

問 男女共同参画セミナーで、「人生を幸せに元気で生きる」自分の内外にある「らわ・から脱皮しよう」や「女性もリーダーシップの演題で学習した。今後の企画内容は。

答 自己表現を身につける個人や団体が増えると、男女共同参画社会の実現に近づくものと考える。また、公民館で実施している市民講座との連携についても検討していく。

問 男女共同参画セミナーで、「人生を幸せに元気で生きる」自分の内外にある「らわ・から脱皮しよう」や「女性もリーダーシップの演題で学習した。今後の企画内容は。



中村 真一

検証 台風19号 10月12日

委員会視察調査報告

（先進地の取り組みを視察・調査しました）

**問
齢者、障害者等の要支援者への避難支援はできたのか。**

答 要支援者は高齢者や障害者などのうち、災害が発生した場合に自ら避難することが困難な人をさし、民生児童委員も避難支援者として区・自治会長や地域支援者と共に支援をお願いしている。

10月12日の台風当日は避難誘導、移動の介助等要支援者への適切な対応が不足した点もあつたため、研修等で徹底したい。

**問
各地域の防災リーダーとして開設するなど、要支援者等の誘導は出来たか。**

答 区長、自治会長は地域防災リーダーとして防災・減災に向けて「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助の意識を持ち、地域防災力の向上に取り組んでいた。公民館等の自主避難所の開設は区長、自治会長の判断に委ねられているが、開設・運営に対する知識等の研修が必要であれば、市として支援する。

**問
10月12日夕方の避難所の開設・運営実態と問題点は。**

答 避難所の開設・運営マニュアルについては、今回の反省点等を検証し改善したい。特に開設時のスマートな受け入れや担当職員の対応等が課題だと思う。また運営管理者は開設当初は市の職員が主導し、長期化する場合は自治会や避難者へ移行し、避難者自らの避難所自治組織として運営することになる。



▲千曲川の治水対策は

1日目 青森県平川市では30度正規職員320人に対し、非正規は100人未満に削減。事務事業を再編し、量の改革から質の改革へ、市民が満足する質の高いサービスの提供を調査した。

2日目 青森市において、学力向上のための学校支援総合プランから授業改善の観点「あ・お・もり・し・メソッド」を調査。子ども達に自己肯定感を味わせ、成長できる手立ての工夫を全市挙げて取り組んでいた。

3日目 「スマートシティ会津若松」について、ICT活用による人材育成や行政サービス向上のための質の高い取り組みを調査。視察調査の結果を千曲市へ提言した。



▲青森市での視察の様子



▲平川市での視察の様子

～議会の活動より～

11/15 国道18号バイパスの早期建設を要望 —国土交通省—

新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会（千曲市、坂城町、長野市、上田市）が、財務省、国土交通省、同関東地方整備局、地元衆参国會議員に早期建設の要望を行いました。千曲市議会からは荻原議長、さらしなの里振興対策特別委員会の北川原委員長が参加しました。



▲国土交通大臣 赤羽一嘉 様



▲衆議院議員 太田昌孝 様

10/24 更正保護に関する研修会

更生保護に関する知識を深めるべく、長野保護観察所企画調整課長 徳竹浩二氏をお招きし研修会を行いました。



▲研修会の様子

11/21 第59回東北信9市議会正副委員長研修会 —東御市—

千曲市からは正副議長、各委員会の正副委員長が出席しました。

当日は「地方創生時代における地方議会の役割とは」との演題で早稲田大学名誉教授の北川正恭氏の講演がありました。



▲講演会の様子

台風19号災害関連

議会活動

10月21日 総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、更埴文化会館、更埴図書館の現地調査を行い、市の担当者より被害状況の説明を受けました。



▲更埴図書館の被害状況について



▲更埴文化会館の被害状況について

10月30日 福祉環境常任委員会

福祉環境常任委員会は、更埴子育て支援センター、杭瀬下保育園、雨宮保育園の現地調査を行い、市担当者などから被害状況の説明を受けました。



▲雨宮保育園の被害状況



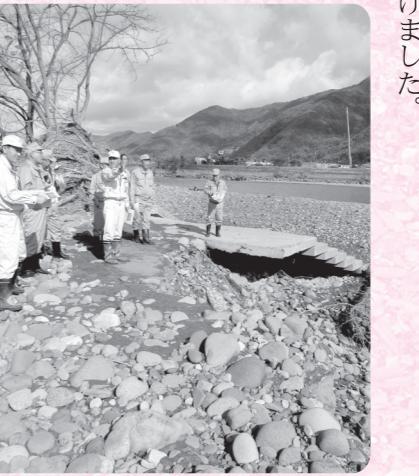
▲更埴子育て支援センターの被害状況について

11月12日 建設経済常任委員会

建設経済常任委員会は、力石周辺の農業施設、河川公園（萬葉の里スポーツエリア）、市内の霞堤、尾米排水機場、伊勢宮排水機場の現地調査を行い、市の担当者より被害状況の説明を受けました。



▲伊勢宮排水機場の被害状況について



▲河川公園(萬葉の里スポーツエリア)の被害状況について

～台風の災害について視察・調査しました～



「姉妹都市より災害見舞いを頂きました」

11月6日 宇和島市

宇和島市の福島議長、武田副議長が就任挨拶と台風19号の災害見舞いのため岡原市長と共に来訪されました。福島議長からは、ご厚情あふれるお見舞いの言葉と宇和島市議会からのお見舞金を頂戴しました。



11月18日 横芝光町

横芝光町の鈴木克征議長、鈴木和彦副議長、川島前議長、八角元議長、鈴木元議長が台風19号の災害見舞いのため来訪されました。鈴木議長からは、ご厚情あふれるお見舞いの言葉と横芝光町議会からのお見舞金を頂戴しました。



11月21日 射水市

射水市の島副議長が台風19号の災害見舞いのため来訪されました。島副議長からは、ご厚情あふれるお見舞いの言葉と射水市議会からのお見舞金を頂戴しました。

議会活動

議会日誌

9月定例会終了後から12月定例会までの議会活動の紹介です。

10月

- 1日 新湊曳山まつり
- 3日 福井県鯖江市議会産業建設常任委員会行政視察来市
六ヶ郷用水組合議会視察研修(～4日)
- 7日 議員報酬及び政務活動費の見直し要請
- 9日 総務文教常任委員会行政視察(～11日)
- 11日 議会広報特別委員会
- 18日 千曲坂城消防組合議会定例会
- 21日 総務文教常任委員会
議会広報特別委員会
- 24日 千曲衛生施設組合議会定例会
更正保護に関する研修会
- 29日 富山県射水市議会自民議員会行政視察及び表敬訪問
- 30日 葛尾組合議会定例会
福祉環境常任委員会

11月

- 5日 六ヶ郷用水組合議会定例会
- 6日 総合計画及び公共施設再編特別委員会
愛媛県宇和島市正副議長就任表敬訪問及び災害見舞い來訪
長野広域連合議会議運
- 8日 企業等誘致推進特別委員会
- 11日 長野広域連合議会定例会
- 12日 建設経済常任委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 15日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要望活動(国土交通省他)
- 18日 千葉県横芝光町正副議長災害見舞い來訪
消防組合議会視察研修(～19日)

11月

- 21日 第59回東北信9市議会正副委員長研修会
富山県射水市議会災害見舞い來訪
- 22日 台風19号に係わる議会全員協議会
- 25日 さらしなの里振興対策特別委員会
台風19号に係わる国交省要望活動
- 26日 議会運営委員会
議会広報特別委員会

12月

- 2日 議会全員協議会
議会運営委員会
- 3日 議会運営委員会
議会全員協議会
令和元年第4回(12月)議会定例会開会
- 9日 議会運営委員会
一般質問(個人)
- 10日 一般質問(個人)
- 11日 議会運営委員会
一般質問(個人)・議案審議
- 12日 総務文教常任委員会
- 13日 福祉環境常任委員会
- 16日 建設経済常任委員会
- 19日 議会運営委員会
令和元年第4回(12月)議会定例会閉会



令和2年第1回(3月)千曲市議会定例会予定

【2月】

25日	(火)	本会議	開会
-----	-----	-----	----

【3月】

2日	(月)	本会議	一般質問(代表)
3日	(火)	本会議	一般質問(代表)
4日	(水)	本会議	一般質問(個人)
5日	(木)	本会議	一般質問(個人) 議案審議
6日	(金)	委員会	総務文教常任委員会
9日	(月)	委員会	福祉環境常任委員会
10日	(火)	委員会	建設経済常任委員会
16日	(月)	本会議	委員長報告・採決 閉会

※議事の都合により、日程が変更される場合がありますのでご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

議会活動を知る方法の一つに**傍聴**があります。議会だよりでは伝えることできない議会や議員の活動を知ることができます。

新しい議場へ是非お出掛けください。



今後の予定

今月号の表紙は……

令和2年1月1日 被災地に昇る初日の出

元日の早朝、薄暗い空は満天の星空、カメラを手に戸倉千曲川緑地公園へ、超大型の19号台風、痛めつけられた河川敷公園は水害遺構のよう。7時30分元初の太陽が遅く昇り始め、強く美しい光が芝生を照らしこちらへ近づいてくる。光の放射線に向かって歩き出会った瞬間にシャッターを切る。今年、千曲市は19号水害からの復旧・復興から始まる。太陽はいつもと変わらぬ強烈な光で彼の地の朝を瞬時に開く。我らも誓う、いつもの美しい風景に必ず戻すことを。



市民の声



山城 龍聖さん
(桑原)

「議会・市政に關すること」
テーマに寄稿いただきました。



西村枝里子さん
(森)

いつまでも続く あんずホールに

台風19号では、大きな被害が出ました。ぼくの家は、幸い無事でしたが、あんずホールが浸水してしまい、地下の楽器や、図書館が使えなくなってしまいました。ぼくは、図書館が好きだし、ぼくの小学校は毎年、音楽会や、金管バンドの練習で、ホールを使うので早く復旧して、ホールのステージに、みんなを立たせてあげたいです。もしまでの台風で、浸水被害が出てしまった場合でも、避難所としても、人々のためになる設備を増やしたり、図書館の蔵書をより充実させたりして、たくさん的人が集まる施設であり続けてほしいです。ようしくおねがいします。

千曲市は、千曲川流域を中心とし自然を活かした美しい風景と魅力に富んだハート型の町で、私は誇りに感じます。しかし自然の恩恵もあるが、災害もある事を忘れてはならないと今回感じました。町づくりの為の開発と防災、維持管理を考える時、主軸は経済活動ではなく、心の豊さであつて欲しいと思います。人も物も自然もサステナブルな千曲市実現の為、議会では活発な提案を、私達は地域の活動に積極的に関わり、多様な世代間の交流を通して人とつながり暮らしを創つて行けたら、つながりがパワーになり豊かさを生むと考えます。頑張ろう千曲市。

人と地域を 豊かに

千曲市は、千曲川流域を中心とし自然を活かした美しい風景と魅力に富んだハート型の町で、私は誇りに感じます。

しかし自然の恩恵もあるが、災害もある事を忘れてはならないと今回感じました。町づくりの為の開発と防災、維持管理を考える時、主軸は経済活動ではなく、心の豊さであつて欲しいと思います。人も物も自然もサステナブルな千曲市実現の為、議会では活発な提案を、私達は地域の活動に積極的に関わり、多様な世代間の交流を通して人とつながり暮らしを創つて行けたら、つながりがパワーになり豊かさを生むと考えます。頑張ろう千曲市。

議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！
お気軽にご意見をお寄せください。



記入事項

①住所 ②氏名 ③議会だよりへのご意見

提出方法

上記事項を記入し、ハガキ、メール、ファックスによりお送りください。

宛先

〒387-8511 千曲市杭瀬下二丁目1番地

千曲市議会 議会広報特別委員会

E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp

FAX : 026-272-0765

編集後記

台風19号災害を受けて、12月議会は被災者支援や今後の治水対策について、様々な角度から活発な議論がなされました。

今回の災害を教訓に、市民の皆様と危機感を共有しながら「安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、市議会一丸となって取り組んでまいります。

議会広報特別委員

委員長	滝沢清人
副委員長	正徳齋藤
委員	新市小玉
	愛一郎林
	大澤洋子
	倉島さやか
	北川原晃
	金井文彦

千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会 TEL 026(272)0199(直通) FAX 026(272)0765
ホームページ <http://www.city.chikuma.lg.jp> E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者／千曲市議会議長 萩原光太郎 編集／議会広報特別委員会
印刷／寺沢印刷(千曲市大字八幡 2069番地7)

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙(古紙配合率100%の再生紙)を使用しています。